

会報
シルバー

公益社団法人 大館市シルバー人材センター

おおだて

大館市字扇田道下6番地10 電話49-4088



秋田犬ふれあい隊 あこ・飛鳥

©忠太八チ公と秋田犬のふるさと大館市

国指定天然記念物：秋田犬「あこ&飛鳥」



12月末現在会員数
男性 423人
女性 154人
計 577人

※前年同期比3人減

大館 429人
田代 82人
比内 66人

本年もよろしく
お願い申し上げます

他職員一同

監事	監事	監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	常務理事	副会長	会長
岩間	田中	中嶋	木越	浅利	本間	安田	三上	寺田	畠山	伊藤	菅原	安達	三浦	鳴海
久子	瑞穂	正三	恵三	二雄	鉄郎	鏊介	文弘	晃美	壽子	アヤ子	明裕	公正	剛衛	

謹賀新年

新年のご挨拶



会長
鳴海 義衛

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には、ご健勝にて新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

大館市シルバー人材センターは、公益法人に移行して以来五ヶ年が経過する中で、「第一次中期計画」を指針に目標を設定して取り組んでおりますが、事業運営につきましては概ね順調に推移しているところであります。

これもひとえに、ご支援いただいた行政機関の方々や大館商工会議所様並びに民間事業所様、そして多くの市民の皆様の協力のもと、誠実に仕事に取り組んだ会員皆様の努力の結果であり、心より感謝とお礼を申し上げます。

さて、当市では、平成二十八年度に新たな市の将来像を掲げた、「第二次新大館市総合計画」を策定しました。その中で「ひとつくろり」、「暮らしづくり」、「ものづくり」、「物語づくり」、「まちづくり」、「まちそだて」の六つのキーワードを基本計画の重点プロジェクト

に位置付け、「未来創造都市」大館の実現に向け、早いスピードで取り組まれております。

本計画はシルバー人材センター事業とも深い関係があり、通常の事業を始め、介護予防・日常生活支援事業などで市との連携を図り、様々な分野でお役に立てればと思っております。

次に、課題の一つである「会員拡大」の取り組みであります。お客様の要望に十分応えるには会員の確保・拡大が避けて通れません。これまでも様々な工夫や取り組みを行い会員増に努力してまいりましたが、成果に結びついていません。

そこで、従来の考え方から一歩踏み出し、負担と公平性の確保を図りつつ、夫婦会員や入会月による会費の柔軟な設定等について検討しているところであります。

今後、会員皆様方のご意見ご提言をいただきながら、実効性のあるものに進めてまいりたいと思います。

結びに、道元禅師のメッセージをご紹介しながら新年のご挨拶に代えさせていただきます。

「人生に定年はありません。老後も余生もないのです。命の尽きるその一瞬までは人生の現役です。人生の現役とは、自らの人生を悔いなく生ききる人のことです。」

新年のご挨拶



大館市長
福原 淳嗣

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

会員ならびに事務局の皆さまにおかれましては、日頃から「自主・自立・共働・共助」を理念に、一丸となって取り組まれていることに心から敬意を表します。

今年の干支は「戌」ですが、私の執務室には、ひとつの秋田犬の像があります。この像は、現在渋谷駅に設置されている八チ公像の作者である安藤氏の手によるもので、平成二十七年に所有者の木村泰治氏のご遺族から譲り受けたものです。

木村泰治氏は、明治三年に大館市風呂屋町に生まれ、東京英語学校に入学、台湾に渡り、新聞記者を経て台北の都市開発に取り組み、実業家としての手腕を発揮され、台湾商工会議所の会頭にいられた方です。昭和十九年に会頭を辞され、福島県二本松市の岳温泉の開発に尽力されたのですが、この時の年齢は七十八歳。偉人であるとともに超人であったと思います。

私は先日五十歳の誕生日を迎えたばかりですが、この秋田犬の像を見るたびに、氏が喜寿を超えてなお地域発展に尽力されたことを思い出し、身が引き締まります。

働く喜びを知る大館市シルバー人材センター会員の皆様は、木村翁のように地域発展のためのエネルギーをお持ちであると私は確信しております。

また、「戌戌(つちのえいぬ)」戌には「草木が繁盛して盛大になる」、「戌には「切る」という意味があるそうです。皆さまもご存知のとおり、樹木を育てるには、剪定という作業があります。枝を切るといことは、樹木にとって大きな変化なのですが、果実をより良く実らせ、さらに大きく育てるには、座して待つのではなく、新たな一歩を踏み出す必要があります。今年の干支は正に変化の一歩を踏み出すタイミングではないでしょうか。

新たな年を迎え、生涯現役活躍社会の実現に向け、共に取り組んで参りたいと存じます。

結びに、大館市シルバー人材センターの益々の発展と、会員の皆様のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます、年頭のあいさついたします。

会員紹介「年男・年世」

今年の干支は…

戌

・年男、年女の会員に…

- ①趣味や特技
- ②今年の目標や抱負
- ③最近嬉しかった事について伺いましたので、ご紹介いたします。

十六班
村田 好一

- ①趣味も特技ありませんが「麻雀」だけは大好きです。
- ②平平凡凡に、大病なく一年過ごせば幸せ。それから、今年こそシルバーの麻雀大会で優勝し、会長杯に名を残したいです。
- ③手首の調子が悪かったので庭木班を卒業しました。かつての仲間との交流も無くなり少し寂しい気持ちです。でも、毎週「麻雀同好会」のメンバーとチーポンやつてボケ防止に励んでいます。「健康麻雀」が楽しくて張合いがあります。

十五班
石田 豊

- ①読書、カラオケ
- ②一年でも長く、シルバーで働いて行きたい。
- ③庭木班で旅行したこと。

十一班
若松 信夫

- ①愛犬の散歩。運動。三年目となった家庭菜園。
- ②健康第一。幸い大病を患ったことはないが、最近検診の度に再検査に引つかかるし、小病気で病院に通う頻度も増えた。体調管理の点からスポーツの後の反省会と称した「飲み会」を減らすべく迷っている。
- ③好きな野球やバトミントンはさっぱり上手にならないが、野菜作りの方で毎年少しずつ収穫量や形が良くなってきたこと。

六班
石田 ミヨ

- ①グランドゴルフ、ユニカール
- *木曜は公民館、金曜は町内会館で、週二回の楽しみ。
- ②五人会と言って毎月五日に食事・語りの会があり、たまに温泉に行きカラオケで歌います。また民謡踊りが好きで、年に二、三回、施設訪問や旅行で踊っています。
- ③足腰の鍛錬を兼ね、天気の良い日は電動自転車に乗って、遠くまで出かけること。また、埼玉の三人のひ孫からかかってくる、「ばあちゃん元気？」の電話が何よりもうれしい。これからも皆様から元気を貰い、健康に過ごしたいと思います。

八班
藤木 憲子

- ①編み物、読書
- ②昨年は病院通いの多い年でした。

六班
柏山 美代子

- ③友人们と食事会をすること、また毎年娘たちから誕生日プレゼントを貰い、うれしいです。

十九班
佐藤 眞平

- ①生け花、フラワーアレンジメント
- ②健康に留意しながら、家族や友人と小旅行を沢山したいです。
- ③高齢になりましたが、病気もせず社会と繋がりがながら仕事の出来る事に幸せとうれしさを感じています。

- ①ゴルフ、グランドゴルフ、ソフトボール、カラオケ
- ②健康に気を付けて、地域の行事に積極的に参加すること。

③孫たちが野球やバレーに入っており、応援を楽しんでいる。私自身も高校の仲間たちとグループで歌を楽しんでいる。



十九班
北林 孝

①雪解けを待つて、春・夏・秋と山菜採りを楽しみにしています。
②体に気を付けて、いつまでも健康で元気でいたいです。
③孫の就職が決まったこと。ひ孫が遊びに来るのを毎日楽しみにしていること。



二十二班
寛 政夫

①趣味↓社交ダンス、読書(西村京太郎と今野敏にハマってます)特技↓特になし(若い頃はいっぱいあったのになあ...)
②まずは健康第一。無理せず、無駄なく、飲み過ぎず。病氣、怪

我には遠慮してもらい、楽しかったと思える一年であればイイナ。

③能代の中学三年の孫が、最後の大会で頑張ってくれて活躍した事が嬉しかった。



八班
澤口 達雄

①ドライブ(年2〜3回遠出して楽しんでいます。)
②いつまでも若くはないので体を大事にしたいです。
③昨年の夏に、竜飛海底を見学しました。大量の資材が使われていました。



十三班
泉 イエ

①働くこと。編み物。
②体調が許す限り働きたい。
③昨年一年間、どうにかこうにか働けたこと。



十九班
花田 秋道

①テレビで野球観戦。ジョギング。
②健康を維持し、夫婦で旅行すること。
③十一月の市の体力測定で、体力年齢が二十〜二十四才の総合評価A級の結果が出て、永年の禁酒・禁煙の効果を実感しています。



十六班
伏見 幸子

①鉢花を育てること。(ランが好き)太極拳も行っています。
②健康に気を付け、いつまでも元気で働けるように頑張ること。
③孫がよく電話をくれること。子供が休みの時に家に来てくれること。怪我をし、もう働けないと諦めていたが、また働くことが出来るようになったこと。



十班
斎藤 武東

①音楽、映画鑑賞
②入会以来、多くの先輩会員から様々なことを教えて頂き、心から感謝しております。これからもお客様に喜んで頂けるように丁寧な仕事を心掛けていきたいと思っています。
③昨年の誕生日に、以前から欲しいと思っていた物を、名前入りで娘夫婦がプレゼントしてくれたことが嬉しかった。

.....
戌生まれの会員は、八十四歳の方が七名、七十二歳の方が三十名在籍しています。
誌面の関係上全員ご紹介できず申し訳ございません。良いことが沢山ありますようお祈り致します。



「会員になりました」


 二十一班
鳥 潟 幸 子

シルバー人材センターに入会したのは昨年の四月です。以前から地区のゴミ集積所のポスターを見て、「何時かは…」と思っていたが、中々決心がつかずに月日が経ってしまいました。

母親代わりになって三人の内孫を育て上げることに専念していましたが、今春に三人目が巣立つのを機会に、今度は自分の為に何かを始めようと思いましたが。余暇を利用して無理なく仕事ができる、更に収入を得る。ありがたいことです。

私は花が好きで、ここ数年は公民館の花壇コンクリートの個人の部に応募しています。町内では多くの方が花壇作りをしていて、参考にしたり、珍しい花を見ると欲しくなり種や苗をいただいたりしています。毎年、今回はどんな花を植えようか考え、園芸店を巡るの

も楽しみです。昨年六月には、公民館主催の「ガーデニング講習会」に参加し、初めてプランター植えに挑戦しました。その結果、「公民館長賞」をいただき、目標を達成する事ができました。

春から秋まで家の周りや花壇の草取りをしているので、シルバーでは「除草班」を希望しました。

除草の仕事は炎天下の時もあり大変ですが、みんな汗だくになって黙々と作業に臨んでいます。

大切な鎌を使い易いからと貸していたことがあり、お陰様で楽に作業ができ本当に助かりました。草取りも道具が大事だと思えました。また、先輩会員の丁寧な仕事ぶりが依頼主の方にも伝わり、感謝の言葉をいただいて嬉しく思いました。

九月に「秋田県子育て支援員研修」の基本研修があり、二日間にわたってシルバー会員三人と一緒に受講する機会がありました。

現代の子供たちの置かれている厳しい現状や親世代の苦しみ、とりわけ乳幼児は「愛着」の形成が必要だということがわかりました。若い人たちに交じり、大学講師の講義を聴くのも、メモを取るのも、発表するのも何十年振りかの

体験です。頭がついて行かずレポート提出に悪戦苦闘しましたが、人と交流する機会を得て、少しですが消極的な自分を変えることができました。

初めて顔を合致するシルバーの仲間と、あれこれ会話し、情報交換して楽しい時間を過ごせたことは嬉しい限りです。また、除草以外の仕事も経験する機会があり、シルバー世代が必要とされている事も実感できました。

これからも臆せず何にでも挑戦してみたいと思っています。

認知症サポーター養成講座を受講して


 六班（監事）
岩 間 久 子

シルバー人材センターに入会して四年過ぎました。この間にいろいろな講習会が実施され、少しでも暮らしの日課に取り入れられたらいいと思います。

昨年十月三十一日には、シル

バー人材センターと大館市長寿課の連携で「認知症サポーター養成講座」が開かれ受講しました。社会福祉士の方が講師を務められ、リラックス体操をしてから始めたので緊張することもなく、七十人以上の受講者は皆熱心に聞き入っていました。



認知症サポーター養成講座

「認知症とは？」と題して、脳のはたらきから説明してくださいましたが、認知症は誰にでも起こりうる脳の病気であること。いろいろな原因で脳の細胞が死んだり、働きに不都合が生じたりして様々な障害が起こり、生活する上で支障が出てくることでした。他人ごとではないと思いました。

しかし、認知症について正しい知識を持ち、偏見を持たず、周囲の理解と気遣いがあれば穏やかに暮らしていくことが可能であることも知りました。

認知症サポーターは、なにか特別なことをするのではなく、認知症の人やその家族に対して温かい目で見守ることがスタートで、自然に接する心構えが必要だそうです。普段から挨拶や声掛けに努めることが大切で、日常的にさりげない言葉がけで接する心掛けが、いざ認知症と思しき人と出会った時に役立つのだと、改めて認識しました。

シルバー人材センターでは、今年度から高齢者世帯を対象とする「生活支援サービス」の事業を始めました。会員が仕事や生活の中で、自分たちより上の世代の高齢者と接する機会が多くなることから、認知症について正しい知識を身に付けて貰うために実施したと聞き、とても良い企画だったと思います。

もう一つ私が関心を持ったのは、認知症の予防についてです。シルバー人材センターの就業活動は、自分のためでもあります。地域社会に貢献もしています。入会す

る目的は何であれ、仲間から仕事や趣味で心地良い刺激をもらい、声を出して笑い、配分金を頂いて生活を充実させ、市民の役にも立っている。この活動が脳を活性化させ、認知機能を高めることにつながっていると私は思います。

会員の皆様とともに、健康第一に仕事も遊びも仲良く頑張りたいと思います。

小型移動式クレーン 運転技能講習を受講して



六班
小玉 年春

昨年九月にシルバー人材センターに入会しました。入会して三ヶ月の間にいろいろな仕事をさせてもらいました。

そんな時、小型クレーン車の講習があると知り、早速シルバーに出向き受講の申し込みをしました。十月十六日に北地区コミュニケーションセンターで開講式があり、講習が始まりました。受講者は十人

ほどでした。

一日目と二日目は教科書を使つての講義でしたが、ひと通り講義を受けたと思つたらすぐに学科の筆記試験がありました。学科は専門的用語や計算などもあり、覚えるのが大変でした。

三日目になり、今度は実技指導です。会場は藤嶋鉄工でした。実技指導では機械操作があり、最初のうちは慣れることが出来なくて上手くいきませんでした。一つ一つ講師の的確な指導を受け、何とかクレーン車の操作ができるようになった。

学科も実技指導も終わり、心配だった筆記試験も合格し、無事、小型移動式クレーン車の資格を取得することができました。

年齢を重ねるたびに記憶力も行動力も衰える一方だし、最初は講義が難しく感じられて、なかなか頭に入りませんでした。年齢的に新しいことに挑戦するのは大変だと思いましたが、それも自分の努力次第で良い結果につなげることができると思います。

これからもシルバーでどんな講習をやるのか楽しみです。どんどん受講したいと思っています。その結果として、取得した資格を活

かし、いろいろな仕事に携わることができればありがたいと思います。



移動式クレーン実技

大館市長に シルバー支援の要請

昨年九月十一日、鳴海会長と三浦副会長及び事務局長の三人に加え、商工課の畠山課長補佐にも同行していただき、市長室を訪問。

福原市長は大変お忙しいにもかかわらず快くお迎えくださり、会長、副会長とも新任のご挨拶を述べさせていただき、加えて新しい事業に対する補助金交付の御礼と

会員の仕事確保など、支援の要請をすることができました。

当日は大館神明社の祭典で、市長室の下は祭り囃子で大賑わい。ちょうどこの日に結婚するカップルが山車とともに訪れ、福原市長が祝福のために中座。慌ただしい中にも気持ちの和む訪問でした。



市長に要望書を手交

田代生産活動「寿会」から しめ飾り受贈

今年も田代生産活動「寿会」様から、健やかに新年を迎えられるように、事務所玄関を飾る「注連縄」を寄贈していただきました。

寿会の皆様は丹精込めて作った立派なしめ飾りです。お陰様で役員一同、会員皆様の旧年中の活躍に感謝するとともに、清らかな気持ちで新年を迎えることができました。



寿会の会員は、半数以上がシルバー会員です

新会員紹介

篠村 菊男	五班
桜庭 哲政	五班
桜庭 文子	五班
小玉 年春	六班
美濃谷 博	六班
川田 公一	六班
小笠原 すみ子	六班
長谷川 光子	六班

「役員街頭宣伝活動」

今年度も役職員による「街頭宣伝活動」を実施しております。

田代「たけのこ祭り」を手始めに、イオンスーパーセンター、いとくシヨッピングセンター、扇田「五日市」、大館「七日市」、ニプロハチ公ドームでの「大館圏域産業祭」に出向き、訪れた市民にポケッティンや花の種と一緒にチラシを配布しました。

以上、七月以降に二十一名の方が新しく仲間入りしました。

小 林 美津夫	二十四班
神 成 宗久	二十二班
和 田 多香子	二十二班
坂 田 智也	十六班
兔 澤 ウメ	十六班
長 崎 久則	十六班
田 中 金廣	十五班
畠 山 人司	十五班
播 磨 孝夫	十五班
蛭 田 徳義	十三班
工 藤 徹	十一班
三 浦 馨	十一班
畠 沢 敏子	十班

「ポスター掲出活動」

今年度も、シルバーのゆるキャラ「チエブクロウ」をモチーフにポスターを更新しました。

十月の「シルバー普及啓発促進月間」に、役員と地域班正副班長の皆さんにお願いし、町内掲示板や各地区の家庭ごみ集積所に掲示してもらいました。



産業祭でチラシ配布

次は、一月二十七日に比内「とりの市」会場で実施します。お揃いの絆纏を着込んでおりますので、見かけたら声を掛けてください。

お知らせ

● 会員登録の継続と年会費自動引落しをお願い

★ 二月中に、平成三十年度年会費の自動引き落とし事務の関係で、継続して会員登録していただけるか、又は退会されるか、確認のための「通知文書」が配布されます。

★ 退会せざるを得ない方は「退会届」の提出をお願いします。

★ 継続して会員登録される方は、届出不要です。(期日までに退会届が提出されない場合は、継続して会員登録するものと致します。)
※ なるべく退会しないようにお願いします。

★ 継続会員登録の場合、ゆうちょ銀行の口座から年会費が自動引落しされます。手数料と年会費で3025円です。三月下旬に引落しの予定ですので、通帳残高に不足の無いようお願いします。

● 地域班会議に参加を

★ 担当の班長・副班長さんから「地域班会議」開催の連絡があります。
★ 意見交換を図る良い機会ですので、是非参加して下さい。

● 確定申告の季節です

★ シルバー配分金は、公的年金と同種の「雑所得」です。

★ 年金と配分金所得のみの方は、六十五万円の特例控除があります。

★ 一方、「労働者派遣」で働いた方は「給与所得」になります。

★ 秋田県シルバー人材センター連合会から「源泉徴収票」が送付されますので、配分金とは区別して申告してください。

● 新春「麻雀大会」のご案内

・ 期 日 平成30年1月26日(金)

・ 時 間 9時開会

・ 会 場 シルバー人材センター

・ 参加費 千五百円(賞品、昼食代)

・ 募集人数 先着十六人

・ 申込みは事務局へ49-4088

● 今後の配分金支払い日

十二月分 ↓ 一月三十一日

一 月 分 ↓ 二月二十八日

二 月 分 ↓ 三月三十日

三 月 分 ↓ 四月二十七日

四 月 分 ↓ 五月三十一日

五 月 分 ↓ 六月二十九日

六 月 分 ↓ 七月二十七日

● 三月の入会説明会

三月七日(水)

三月十四日(水)

三月二十八日(水)

★ 四月以降は、毎月第二と第四水曜日に開催します。(午前九時開始)

● 自由民主党シルバー

活性化議員連盟

会員の皆さん、自由民主党に「シルバー人材センター活性化議員連盟」があることをご存知ですか。平成二十五年九月に発足しました。行政刷新会議「事業仕分け」で補助金が大幅に縮減され、全国のシルバーが窮地に立たされました。地域に必要とされているシルバーを救うため、保岡元法務大臣の提案で自民党内にシルバーの応援団を作ろうとなったのです。

お陰様で補助金も事業仕分け以前と同等に回復しましたが、議員の皆様からは、財務省を説得するため会員を増やすよう要請されております。会員の皆さん、「口コミ勧誘」で力を貸してください。

なお、川崎二郎元厚生労働大臣が会長に、片山さつき参議院議員が事務局長を務められております。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

会報第七十四号の発行に際しましては福原大館市長様はじめ、多くの皆様にご寄稿戴きました。ありがとうございます。

会報の編集に携わって毎回思うのですが、会員の皆様に共通した、何気ない言葉に感銘を受けます。「仲間に支えられ、励まされ、楽しく仕事ができる、生き甲斐を感じる、」また「皆様と共に、精一杯頑張りたい、感謝している、」などと言った声です。強い仲間意識に裏打ちされた皆様の素直な気持ちから発せられる、心からの言葉だと思っています。

これからも「自主・自立、共働・共助」の基本理念を合言葉に、皆様と手を携え、市民に愛されるシルバー人材センターを目指していきたいと思えます。この先一段と寒さが厳しくなります。春の訪れを待ちわびながら、くれぐれも無理などなさらないよう、ご自愛ください。

三浦、安田、伊藤、畠山、寺田、木越